

第14回 障害者支援施設部会全国大会 関東地区 千葉大会

開催日：令和9年1月28日(木)・29日(金)

大会テーマ

障害者支援施設の未来を考え、来るべきことに備える

～より質の高い支援とよりよい生活環境をめざして～

大会趣旨

現在、障害福祉サービスの中で唯一の第一種社会福祉事業である障害者支援施設は多くの役割・機能を求められており、国の「障害者支援施設の在り方に係る検討会」でも地域移行を支援する機能や地域生活を支えるセーフティネット機能を求められ、日中活動の場と住まいの場の分離を進め、暮らす場所や日中活動の場を本人が選択できるようにすること等大きな変革を求められています。更に強度行動障害を有する人への支援、利用者の重度化・高齢化への対応や看取りまでの支援等も求められており、これらを実行していく上での人材確保についても入所施設ならではの難しさがあり、夜勤を含めたシフト勤務ができる人材の確保はとりわけ苦労している現状があります。

また、多くの障害者支援施設では建て替えや改修が必要な時期になっており、個室・小規模化による居住環境の改善も差し迫った課題であります。このような情勢のなかで今大会は障害者支援施設の未来を考え、今後の障害福祉の動向や大きな変革に対してどう備えればいいのか、必要なこととは何かを考え検討する大会とします。

主催

- ・公益財団法人
日本知的障害者福祉協会障害者支援施設部会
- ・関東地区知的障害者福祉協会
- ・千葉県知的障害者福祉協会

後援

- ・千葉県 ・千葉市 ・千葉県社会福祉協議会
- ・千葉県手をつなぐ育成会
- ・千葉市手をつなぐ育成会
- ・千葉県知的障害者支援施設家族会連合会

参加者

障害者支援施設・障害関係事業所の職員並びに関係者等

定員

1,000名

参加費

会員 20,000円 / 一般25,000円 情報交換会12,000円

会場

TKP東京ベイ幕張ホール（千葉県千葉市美浜区ひび野2-3） Tel 043-296-1112

【会場アクセス】TKP東京ベイ幕張ホール（JR千葉線「海浜幕張駅」徒歩約5分）

11:30 ~ 12:30 受付**12:30 ~ 13:00 開会式****13:00 ~ 14:00 行政説明****厚生労働省（調整中）****14:00 ~ 15:15 基調講演「これから先10年の法人経営を考える」****講師：本間 秀司 氏**
（ウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社 代表取締役）

〈プロフィール〉

外資系コンサルティング会社の日本のエグゼクティブシニアセールスマネジャーを15年。日本の大手税理士法人マーケティング部統括部長（関係会社社長兼務）を4年。現在はウェルフェア・J・ユナイテッド株式会社代表取締役。社会福祉法人、医療法人、民間介護事業者に対する、経営企画室（本部機能）立上げ支援、経営者育成支援（エリート教育）、事業計画策定支援、収支改善、人事考課制度・キャリアパス構築支援、階層別職員研修、新規事業開発支援、のコンサルティング業務を通して、医療・介護の2040年モデル対応から個別事業の収支改善や人材育成、事業者間の統合・合併まで支援を行い、現在全国で多数のコンサルティング実務を実施中。

15:30 ~ 16:40 特別講演「自分という人生の長距離ランナー」**講師：増田 明美 氏**
（スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授）

〈プロフィール〉

スポーツジャーナリスト・大阪芸術大学教授

1964年、千葉県いすみ市生まれ。成田高校在学中、長距離種目で次々に日本記録を樹立する。1984年のロス五輪に出場。92年に引退するまでの13年間に日本最高記録12回、世界最高記録2回更新という記録を残す。マラソン、駅伝の解説が好評で、2017年にはNHK朝の連続テレビ小説「ひよっこ」の語りを担当。現在、テレビ番組のナレーションも数多く務める。（一財）日本パラ陸上競技連盟会長、（特非）日本フロアホッケー協会理事長、（公財）日本パラスポーツ協会理事。

16:40 ~ 16:55 閉会式**18:30 ~ 20:30 情報交換会**

8:30 ~

受付

9:00 ~ 12:00

第1分科会

居住環境を考える ~私はこうして建て替えた!~

建替えを実現した3法人の実践報告から、計画立案・施設整備・運営開始後の工夫と課題を共有します。

趣 旨

施設入所者の重度化・高齢化の進展に伴い、身体介護の必要性は高まっており、パーソナルスペースの確保や、強度行動障害のある方への支援における個室化は不可欠となっています。利用者支援の質の向上のためにも、居住環境の改善は重要な課題です。また、多くの障害者支援施設が、劣化・老朽化に伴う改修や建替えの時期を迎えています。国の検討会においても個室化・ユニット化の推進が示されている一方で、公的な財政支援は十分とは言えず、さらに物価や建設単価の高騰により、建設計画は厳しい状況にあります。

そこで本分科会では、建替えを実現した3法人の実践報告を通して、計画立案から施設整備、運営開始後までのプロセスや工夫、課題を共有し、これから建替えや改修を予定している施設の事業計画や住環境整備の一助となることを目指します。

分科会スケジュール

9:00 開会

9:05~ 9:35 講演 「障害特性と支援に合わせた住まいができるまで」
講師 株式会社 ゆう建築設計 1級建築士 河井美希 氏

9:35~11:55 シンポジウム 共通発表テーマ 【途中休憩有】
「建て替えに至った経緯、一番大事にしたこと」
「建て替え後の利用者の生活はどう変わったか」

発表① 社会福祉法人菜の花会(千葉県)
障害者支援施設 ゆめふる成田 施設長 舘山 聡 氏

発表② 社会福祉法人茨城補成会(茨城県)
障害者支援施設 あつまれガッツ村 施設長 久米亮太 氏

発表③ 社会福祉法人すぎなみき会(栃木県)
障害者支援施設 すぎなみき学園 施設長 井上憲一 氏
コーディネーター 社会福祉法人土穂会(千葉県) 理事長 内野浩二 氏
助言者 株式会社 ゆう建築設計 河井美希 氏

12:00 閉会

医療・行政・施設が一体となった「抱え込まない地域支援」の実践と多職種連携プロセスを検証します。

趣 旨

強度行動障害者への支援は、一箇所の施設や家族の努力だけでは限界があり、状態悪化時の対応や受け入れ先の不足など、地域における深刻な課題となっています。

本分科会では、どうしたらこの支援体制を構築・前進させていけるのか、具体的な方策を検証します。その上で、医療による急性期対応や環境調整、行政による施策・財政支援、施設による専門的ケアの3者が一体となった「抱え込まない地域支援」の実践に向けて議論を行います。事例検討や意見交換を通じて、多職種連携の活性化や、現場で機能する具体的な連携プロセスの共有と構築を目指します。

分科会スケジュール

9:00 開会

9:05～11:55 シンポジウム 【途中休憩有】

発表①「千葉県による重度の強度行動障害者支援の取り組み」

千葉県障害福祉事業課

事業・暮らしの場支援推進班 班長 中嶋 健 氏

発表②「強度行動障害者への医療機関の取り組み」

社会医療法人社団さつき会

袖ヶ浦さつき台病院 院長 菊池周一 氏

発表③「実践発表」

社会福祉法人大久保学園(千葉県)

大久保学園共同生活援助 管理者 原 舞子 氏

発表④「兵庫県による強度行動障害者支援の取組」

兵庫県福祉部障害福祉課

身体・知的障害福祉班 班長 南場直樹 氏

発表⑤「実践発表」

社会福祉法人五倫会(兵庫県)

姫路暁乃里 副施設長 森本隆義 氏

コーディネーター

社会福祉法人佑啓会(千葉県)

ふる里学舎蔵波 施設長 松橋達也 氏

12:00 閉会

意思決定支援や権利擁護を踏まえ、利用者一人ひとりの人生に寄り添う最期までの支援体制を考えます。

趣 旨

知的障害のある方への意思決定支援や権利擁護の視点を踏まえ、高齢期の暮らしを支える支援や終末期ケアについて理解を深めることは、私たち支援者に求められる重要な責務です。一方で、障害者支援施設における看取りの実践には、本人意思の確認や家族との合意形成、医療機関との連携、職員の不安への対応、多職種協働による支援体制の整備など、多くの課題があります。本分科会では、シンポジストの発表を通して、利用者一人ひとりの人生に寄り添い、その人らしい最期までを支えるために今何が求められているのかを改めて考えます。そして、施設における支援の質の向上と実践力の強化につながる機会となることを願っています。

分科会スケジュール

9:00 開会
9:00～9:05 挨拶・説明
9:05～10:35 シンポジウム 【途中休憩有】

実践発表①「最後までそのひとらしく ～居場所・仲間がいる日常～」

社会福祉法人千手会（千葉県）

障害者支援施設 さくら千手園 施設長 山本和彦 氏

実践発表②「その人らしい最期を支えるために

～神栖敬愛園における高齢期支援と看取り支援の実践～」

社会福祉法人神栖敬愛園（茨城県）

障害者支援施設 神栖敬愛園 主任相談支援専門員 大沼純一 氏

実践発表③「施設での看取り支援と医療連携」

社会福祉法人そだち会（山梨県）

障害者支援施設 そだち園 施設長 大西俊宏 氏

コーディネーター

社会福祉法人清郷会（千葉県）

障害者支援施設 協和厚生園 施設長 水野進 氏

10:50～11:35 研究報告 「障がい者支援施設における終末期の暮らしを支える」

～本人の望む生活を支えるために、施設に何ができるのか～

日本保健医療大学 保健医療学部 看護学科 講師 柳澤佳恵 氏

12:00 閉会

業務効率化と質の高い支援を両立するICT導入の実践事例から、現場の労力軽減と活用のヒントを探ります。

趣 旨

最近、よく聞くICT（Information and Communication Technology）って何だろう？

人材確保が困難な状況での強い味方になるのか。充実した利用者さんとの時間を増やす助力となり得る活用方法はどんなものなのか。そして、実際に福祉施設でのICTを取り入れ、活用している事業所のお話を聞いてみましょう。そして、導入するにあたっての動機や職員へ導入方法や苦勞を聞き、実際に職員の労力軽減に繋がり、支援の幅が広がる実践を参考にいただければと思います。

分科会スケジュール

9:00 開会

9:10～10:10 講演 「ICT導入の効果と最新の動向について」

講師 株式会社 ケアコネクトジャパン

ケアコネクト精神を業界全体に広げるためにコネクトしまくる部

業界を盛り上げるためにツナギまくる課

課長 岩崎拓史 氏

10:10～11:55 シンポジウム 【途中休憩有】

実践発表① 「導入の真実 ～成功する施設と失敗する施設の分かれ目」

社会福祉法人八光總(千葉県)

障害者支援施設 八日市場学園 施設長 鈴木喬大 氏

実践発表② 「高齢者施設のICT・AI活用、何から始める？

～私たちに合うものを、みんなで考え、試しては直す～」

社会福祉法人八千代美香会(千葉県)

常務理事 網島由美子 氏

コーディネーター

社会福祉法人佑啓会(千葉県)

ふる里学舎 常務理事 里見吉佑 氏

12:00 閉会

看護師・栄養士の視点から、高齢化・重度化する利用者の健康な暮らしを守る多職種連携のあり方を議論します。

趣 旨

障害者支援施設で働く看護師・栄養士は、利用者が健康で安全かつ快適な生活を送るための専門職として配置がなされており、健康管理と増進等利用者の生活全般にわたってその役割を果たしています。現在は利用者の高齢化・重度化に伴う医療的ケアの重要性も増大しており、また新型コロナウイルス流行など感染症の対応も、支援職だけでなく看護師・栄養士の業務は大変重要な役割を担ってくれています。

こうした現状の中で、「多職種連携の困難さ」「医師不在の中での責任の重さ」「各障害特性を学ぶ機会の少なさ」「医療機関・外部給食業者との連携の課題」等の課題や不安の声も多く聞かれています。そこで、利用者支援の実践について日々奮闘している看護師・栄養士の皆様から現状や課題などを伺い、今後も重度化・多様化する利用者の支援ニーズに沿ったより良い支援につながる分科会にしたいと考えております。

分科会スケジュール

- 9:00 開会
- 9:05～10:05 講演「障害者支援施設における看護師と栄養士の役割と連携」
講師 東都大学ヒューマンケア学部
学部長・教授 野村政子氏
- 10:05～10:15 休憩
- 10:15～11:55 シンポジウム 【途中休憩有】
- 実践発表①「多職種連携による栄養管理体制の強化」
社会福祉法人あだちの里（東京都）
障害者支援施設 希望の苑 管理栄養士 丸山峰子 氏
- 実践発表②「セントラルキッチン運営と他職種連携を通して」
社会福祉法人野栄福祉会（千葉県）
のさかセントラルキッチン 栄養士 辻 伸枝 氏
- 実践発表③「その人らしさを支える支援～看護師の立場から」
社会福祉法人まつど育成会（千葉県）
看護師 松本弘美 氏
- コーディネーター
社会福祉法人さざんか会(千葉県)
障害者支援施設 北総育成園 施設長 白樫久子 氏
助言者 東都大学ヒューマンケア学部 学部長・教授 野村政子 氏
- 12:00 閉会

若者の本音、SNS発信、外国人材の活用事例を通じ、これからの時代に合った人材確保の「常識」を更新します。

趣 旨

「最近の若者は○○…」 「SNS を始めてみたが手ごたえがない」 「外国人の採用はハードルが高い」 …もし、そんな風に感じているとしたら、アップデートが必要なのは、「彼らの意識」ではなく、私たちの「常識」かもしれません。人手不足が深刻化する今、これまでの成功体験が通用しない時代に突入しています。

本分科会では、価値観が多様化する「若者の本音」と「SNS での伝え方」そして、現場に新たな活力を生む「外国人の活用事例」にスポットを当てています。

「今の時代の当たり前」を知り、事業所の未来を切り拓くヒントを一緒に見つけてみませんか？

分科会スケジュール

9:00 開会

9:05~11:45 シンポジウム 【途中休憩有】

発表① 「千葉県知的障害者福祉協会人材確保委員会の実践報告」
社会福祉法人松里福社会 ワーク・ライフまつさと 施設長 小川拓臣 氏

発表② 「若者との関わり方・巻き込み方」
NPO法人おりがみ 代表 都築則彦 氏

発表③ 「SNSを用いた伝え方」
uniple株式会社 代表取締役 野中翔太 氏

発表④ 「国籍を超えて誰もが輝ける職場へ ~自己実現を図る障害者福祉の職場とは~」
社会福祉法人槇の実会(千葉県) 総務部長 在田創一 氏

コーディネーター
社会福祉法人ロザリオの聖母会(千葉県)
障害者支援施設 聖家族園 施設長 古山勇一 氏

12:00 閉会

【大会事務局】

令和8年度 第14回障害者支援施設部会 全国大会関東地区千葉大会実行委員
〒289-3186 千葉県匝瑳市川辺6166 のさか学園 TEL:0479-67-5100